



NATIONAL REPORT ON THE IMPLEMENTATION OF THE RAMSAR CONVENTION ON WETLANDS

**National Reports to be submitted to the 11th Meeting
of the Conference of the Contracting Parties,
Romania, June 2012**

(案)



SECTION 2: GENERAL SUMMARY OF NATIONAL IMPLEMENTATION PROGRESS AND CHALLENGES

セクション 2 : 国内の実施進行状況およびチャレンジの概要

In your country, in the past triennium (i.e., since COP10 reporting):

過去 3 年で (第 10 回締約国会議報告以降)

A. What new steps have been taken to implement the Convention?

条約の履行にあたり、新しく実行したことは何か。

- ・条約湿地における賢明な利用及びモニタリングの現況を調査した。
- ・条約湿地間において連携強化を図り、各湿地について理解を深める勉強会を開催した。
- ・新たな登録湿地を増やすための取組として、国内のラムサール条約候補地の見直しを行い、172 か所の条約登録の可能性のある潜在候補地を選定した。
- ・いくつかの潜在候補地において、希少な渡り鳥であるズグロカモメやシギ・チドリ類の調査を実施した。
- ・2010 年に日本で開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議において、ラムサール条約にかかる啓発 VTR やパネルを作成し、ブース展示等の啓発に努めた。
- ・国際生物多様性の 10 年の取組として全国自然いきものめぐりスタンプラリーを開催しており、ラムサール条約湿地関連施設もスタンプ設置場所として参加し普及啓発を進めている。また、当取組と連携した自然体験プログラムを実施している。
- ・毎年東京にて開催されている「エコライフ・フェア」において、湿地のもたらす恵みについて一般への普及啓発の一環として展示している。
- ・決議 X.31 に基づき、2009 年 5 月より農水省・環境省・国交省の担当官、NGO による、水田決議円卓会議準備会合を定期的に開催している。これまでに 14 回実施した。

B. What have been the most successful aspects of implementation of the Convention?

条約の履行にあたり、最も大きな成果は何か。

2010 年の生物多様性条約 COP10 における農業の生物多様性に関する Decision X.34: に水田決議を歓迎し、締約国にその実施を求めることが決定された。

C. What have been the greatest difficulties in implementing the Convention?

条約の履行にあたり、最も困難を極めたことは何か。

いくつかの湿地においては、ワイズユースを進めることが困難で、湿地や湿地をとりまく生物と、人々の生活との間に軋轢があった。

D. What are the priorities for future implementation of the Convention?

今後の条約の履行のための優先事項は何か。

- ・ 湿地の再生を進める。
- ・ 湿地管理担当者の能力を向上させる。
- ・ 水田決議の履行推進

E. Does the Contracting Party have any proposals concerning adjustments to the 2009-2015 Strategic Plan?

2009-2015年戦略計画の調整に関して、締約国から提案はあるか。

国際的基準は満たしていないが地域にとって重要な湿地の対応に関する項目の追加

F. Does the Contracting Party have any recommendations concerning implementation assistance from the Ramsar Secretariat?

ラムサール条約事務局からの支援に関し、提言事項はあるか。

東日本大震災の被害を受けた地域の湿地や湿地とともにある生活の再生等に係る支援

G. Does the Contracting Party have any recommendations concerning implementation assistance from the Convention's International Organisation Partners (IOPs)?

ラムサール条約国際団体パートナーからの支援に関し、提言事項はあるか。

特にない。

H. How can national implementation of the Ramsar Convention be better linked with implementation of other multilateral environmental agreements (MEAs), especially those in the "Biodiversity cluster" (Ramsar, Convention on Biological Diversity (CBD), Convention on Migratory Species (CMS), CITES, and World Heritage Convention), and UNCCD and UNFCCC?

多国間環境協定、特に生物多様性関連（ボン条約、ワシントン条約、世界遺産条約）、及び砂漠化対処条約、国連気候変動枠組み条約の履行と国内のラムサール条約の履行とを、どのようにうまく関係づけられるか。

CBDに基づく生物多様性国家戦略において、ラムサール条約履行推進の考え方を記載し、国家湿地政策として位置づけている。

具体的には、生物多様性国家戦略 2010 において、ラムサール条約第 11 回締約国会議までに国内の条約湿地の 6 箇所増を記載している。

I. How can Ramsar Convention implementation be better linked with the implementation of water policy/strategy and other strategies in the country (e.g., sustainable development, energy, extractive industries, poverty reduction, sanitation, food security, biodiversity)?

国内のラムサール条約の履行と、水政策（戦略）やその他の戦略（例、持続可能な開発、エネルギー、資源採掘産業、貧困撲滅、衛生、食料保障、生物多様性）をどのようにうまく関連づけられるか。

海洋基本計画において沿岸域の保全を重視した施策展開を図ることが提案されている。

J. Does the Contracting Party have any other general comments on the implementation of the Convention?

条約の履行に関して、その他の一般的なコメントがあれば記入。

ラムサール条約の登録は「地域おこし」の一環として捉えられているケースが多いが、条約湿地の保全および賢明な利用に関して、その土地毎の状況に応じた方法での推進が必要となる。

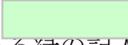
SECTION 3: INDICATOR QUESTIONS & FURTHER IMPLEMENTATION INFORMATION

セクション 3 : 指標質問および追加的实施に関する情報

Guidance for filling in this section

このセクションの記入の仕方

1. For each “indicator question”, please select one answer from the “drop-down” list in the yellow box. 

各指標質問には、黄色部分のドロップダウンリストの中から該当する 1 つを選択する。
2. If you wish to add any additional information on a specific indicator, please provide this information in the green “free-text” boxes below the indicator questions. 

個別指標に関する追加情報を加えたい場合には、回答選択式質問の下にある緑の記入欄に情報を書き入れる。
3. If you wish to amend any of the text you have put in a green “free-text” box, it is recommended that you cut-and-paste the existing text into a separate file, make the amendments, and then paste the revised text back into the green box.

緑色の記入欄に一度書き入れた内容を修正したい場合は、別なファイルで、もとのテキストを「切り取り/貼り付け」したものを修正し、その内容を緑色の記入欄に「貼り付け」て戻す。
4. Some characters used in the free text box prevent the automatic data entry into our database designed for handling and analysing National Reports. For that reason, please do not use the characters “ ”, [], °°°° in the free text box.

自由記入欄で用いられるいくつかの記号は、国別報告書の処理分析を行うデータベースへの自動入力の際に反映させることができない。そのため、“ ”, [], °°°°は自由記入欄で使用しない。
5. To assist Contracting Parties in referring to relevant information they provided in their National Report to COP10, for each indicator below (where appropriate) a cross-reference is provided to the equivalent indicator(s) in the COP10 NRF, shown thus: {x.x.x}

締約国が第 10 回締約国会議の国別報告書に記載した内容の関連情報を参照しやすいように、{x.x.x}の形式で参照箇所番号を示す。
6. Where appropriate, a cross-reference is also provided to the relevant Key Result Area (KRA) relating to Contracting Parties in the Strategic Plan 2009-2015.

必要に応じ、2009-2015 年戦略計画における締約国に関する関連主要成果領域 Key Result Area (KRA)の番号を相互参照として示す。
7. Only Strategic Plan 2009-2015 Strategies and KRAs for which there are significant implementation actions for Contracting Parties are included in this reporting format; those parts of the Strategic Plan that do not refer directly to Parties are omitted.

この報告書に含まれるのは、2009-2015 年戦略計画の戦略及び KRAs に含まれる締約国の主要な実施工動のみである。尚、締約国に直接言及しないものは省かれている。

GOAL 1. THE WISE USE OF WETLANDS

目標 1. 湿地の賢明な利用

STRATEGY 1.1 Wetland inventory and assessment. *Describe, assess and monitor the extent and condition of all types of wetlands as defined by the Ramsar Convention and wetland resources at relevant scales, in order to inform and underpin implementation of the Convention, in particular in the application of its provisions concerning the wise use of all wetlands*

戦略 1.1 湿地目録と評価。特に全ての湿地の賢明な利用に関する条項の適用において、条約の履行状況について情報提供し履行を進めるために、ラムサール条約の定義による全てのタイプの湿地の範囲や状態ならびに適切な規模における湿地資源について、記載、評価、モニタリングを行う。

1.1.1	<p>Does your country have a comprehensive National Wetland Inventory? {1.1.1} KRA 1.1.i 貴国において包括的な国家湿地目録があるか。</p>	A - Yes
1.1.1	<p>Additional information: 全国の目録の中でさらに重要なものを絞った目録としては、日本の重要湿地 500 が相当する。この他、自然環境保全基礎調査による湿地調査報告書、湖沼調査報告書、干潟・藻場・サンゴ礁報告書がある。</p>	
1.1.2	<p>Is wetland inventory data and information maintained and made accessible to all stakeholders? {1.1.2} KRA 1.1.ii 湿地目録のデータと情報は維持され、すべての利害関係者が利用できるようになっているか。</p>	A - Yes
1.1.2	<p>Additional information: 追加情報 HP にて広く一般に公開されている。</p>	

1.1.3 Has the condition* of wetlands in your country, overall, changed since the previous triennium?{1.1.3 & 1.1.4}
過去 3 年、全体的に湿地の状態*は変化したか。

a) Ramsar Sites

条約湿地

b) wetlands generally

湿地全体

Please comment on the nature of the information on which your answer is based in the green free- text box below. If there is a difference between inland and coastal wetland situations, please describe. If you are able to, please comment on what are the principal driver(s) of the change(s).

* “Condition” corresponds to ecological character, as defined by the Convention

下記緑色の記入欄に回答の根拠となる情報の性質をコメントすること。
内陸湿地、沿岸湿地で立地条件が違う場合は説明を記載する。可能なら変化の主要な要因も記入する。

* “状態” とは、条約で定義されている生態学的特徴に准じる。

O - No change
N - Status deteriorated

1.1.3 a) Additional information:
追加情報

1.1.3 b) Additional information:
追加情報
「全体的に」

過去 3 年では全国的な調査は行われていないが、一部の湿地（陸水域や藻場や干潟等）ではモニタリングサイト 1000 による定量的、定性的な調査が行われている。また、東日本大地震により東北地方では、沿岸地域の地盤沈下や干潟の喪失、水田への海水やがれきの流入などにより、湿地の状況が大きく変化した。一方で底生生物の増加が見られる例などもあるほか、大きな被害を受けた干潟が元の形状に戻りつつあるケースもあり、震災による影響について今後は長期的なモニタリングが必要である。

Additional information on any other aspects of Strategy 1.1 implementation:

戦略 1.1 の執行に係る別の取組みがあれば追加情報として記載する。

STRATEGY 1.3 Policy, legislation and institutions. *Develop and implement policies, legislation, and practices, including growth and development of appropriate institutions, in all Contracting Parties, to ensure that the wise use provisions of the Convention are being effectively applied.*

戦略 1.3 政策、立法、制度 条約の賢明な利用条項が効果的に適用されるよう、全ての締約国において、適切な行政機構の増強も含めて、政策や立法、施策を策定し実施する。

<p>1.3.1 Is a National Wetland Policy (or equivalent instrument) in place? {1.2.1} KRA 1.3.i 国家湿地政策（または相当するもの）がある。 (If "Yes", please give the title and date of the policy in the green text box) (「はい」の場合、下記追加実施情報に政策名と制定日時を記入する。)</p>	A - Yes
<p>1.3.1 Additional information: 追加情報 「生物多様性国家戦略 2010」が 2010 年 3 月に閣議決定されており、これを国家湿地政策として位置づけている。</p>	
<p>1.3.2 Does the National Wetland Policy (or equivalent instrument) incorporate any 2002 World Summit on Sustainable Development (WSSD) targets and actions? {1.2.2} 国家湿地政策(または相当するもの)は、WSSD 目標及び行動を盛り込んでいるか。</p>	A - Yes
<p>1.3.2 Additional information: 追加情報 生物多様性国家戦略 2010 において、湿地保全に関わる理念や目標、具体的な行動が掲げられている。当該戦略において W S S D 目標及び行動についても一部盛り込んでいる。</p>	
<p>1.3.3 Have wetland issues been incorporated into other national strategies and planning processes, including: 湿地の課題は、次のような国家戦略や計画過程に組み込まれているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> a) Poverty eradication strategies 貧困撲滅戦略 b) Water resource management and water efficiency plans 水資源管理と水利用効率化計画 c) Coastal and marine resource management plans 沿岸域及び海洋域資源管理計画 d) National forest programmes 全国森林プログラム e) National strategies for sustainable development 持続可能な開発のための国家戦略 f) National policies or measures on agriculture 農業に関する国策若しくは種々の方策 g) National Biodiversity Strategy and Action Plans 生物多様性国家戦略と行動計画 <p>{1.2.3} KRA 1.3.i</p>	<p>Z - Not applicable Z - Not applicable A - Yes A - Yes Z - Not applicable A - Yes A - Yes</p>

1.3.3 Additional information:

追加情報

- C) サンゴ礁生態系保全行動計画及び海洋生物多様性保全戦略を策定した。
- D) 森林・林業基本計画において、溪畔林など水辺森林の保全・管理を進めることを規定している。また、全国森林計画において、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林などの属地的に機能の発揮が求められる森林については、生物多様性保全機能の維持増進を図る森林として保全することを規定している。
- 国有林野の管理経営に関する基本計画において、原生的な天然林や貴重な動植物の生息・生育地等特別な保全が必要な森林について、保護林として積極的に設定することなどを規定している。これにより、河川源流部や湖沼周辺等を含む森林を保護林に設定している。
- G) 生物多様性国家戦略 2010 において、100 年先を見通した湿地のグランドデザインを示すとともに、行動計画において、課題について整理し、具体的な施策を記述している。

1.3.4 Are Strategic Environmental Assessment practices applied when reviewing policies, programmes and plans that may impact upon wetlands? {1.2.5} KRA 1.3.ii

湿地に影響を及ぼす政策、プログラムや計画を見直す際に活用できる戦略的環境評価手法を有しているか。

C - Partly

1.3.4 Additional information:

追加情報

2011 年 4 月の環境影響評価法改正に伴い、事業の位置・規模等の検討段階における SEA の実施が位置づけられた。2013 年 4 月の施行に向けて、戦略的環境アセスメント導入ガイドライン(2007 年 3 月)も踏まえながら、SEA の実施に取り組んでいる。

1.3.5 For any project development (new buildings, new roads, extractive industry, etc.) that may affect wetlands, are Environmental Impact Assessments made?

湿地に影響を及ぼす事業開発 (新しい建造物や道路、資源採掘産業、その他)に対し環境影響評価はなされたか。

C - In some cases

1.3.5 Additional information:

追加情報

湿地を含む、一定規模を超える飛行場、発電所等の開発行為の施工に当たっては、事業者により、環境影響評価手続が行われている。

1.3.6 Have any amendments to existing legislation been made to reflect Ramsar commitments?

ラムサール条約に対応する現行法は改正されたか。

A - Yes

1.3.6 Additional information:

追加情報

ラムサール登録湿地の保全に関する法律である、自然公園法および自然環境保全法において改正がなされた。

Additional information on any other aspects of Strategy 1.3 implementation:

戦略 1.3 の履行に係るその他の取組があれば追加情報として記載する。

STRATEGY 1.4: Cross-sectoral recognition of wetland services. *Increase recognition of and attention in decision-making to the significance of wetlands for reasons of biodiversity conservation, water supply, coastal protection, integrated coastal zone management, flood defence, climate change mitigation and/or adaptation, food security, poverty eradication, tourism, cultural heritage, and scientific research, by developing and disseminating methodologies to achieve wise use of wetlands.*

戦略 1.4 湿地の恩恵/サービスに関する部門横断的な認識。湿地の賢明な利用を達成するための方法論を開発し普及させることによって、生物多様性の保全、水供給、沿岸域の保護、統合沿岸域管理、洪水防御、気候変動の影響緩和や適応、食料保障、貧困撲滅、ツーリズム、文化遺産、科学研究などに果たす湿地の重要性について、認識を高め、政策決定の際にいっそうの注意をはらう。

1.4.1 Has an assessment been conducted of the ecosystem benefits/services provided by Ramsar Sites? {1.3.1} KRA 1.4.ii
条約湿地からもたらされる生態系の恩恵/サービスについて評価を行ったか。

A - Yes

1.4.1 Additional information:
追加情報

ラムサール条約湿地の漁業・農業・観光等の利用状況を取りまとめ、ワイズユースの普及啓発を図るパンフレットを作成・配布した。

1.4.2 Have wetland programmes and/or projects that contribute to poverty alleviation objectives and/or food and water security plans been implemented? {1.3.2} KRA 1.4.i
貧困緩和の目的、および/あるいは、食物と水の安全保障計画に貢献できるような湿地プログラム、および/あるいは、事業が実施されてきたか。

Z - Not applicable

1.4.2 Additional information:
追加情報

1.4.3 Has national action been taken to apply the guiding principles on cultural values of wetlands (Resolutions VIII.19 and IX.21)? {1.3.4} KRA 1.4.iii
国レベルで「湿地の文化的価値についての指導原則」(決議 VIII. 19 および IX. 21)を実施するための行動を行ったか。

A - Yes

1.4.3 Additional information:
追加情報

GIAHS (世界農業遺産) への認定を支援し、佐渡地域と能登地域が 2011 年に認定された。

1.4.4 Have socio-economic and cultural values of wetlands been included in the management planning for Ramsar Sites and other wetlands? {4.1.5} KRA 1.4.iii

湿地の社会経済的また文化的価値は条約湿地および他の湿地の管理計画に含まれたか。

C - Partly

1.4.4 Additional information (if "Yes" or "Partly", please indicate, if known, how many Ramsar Sites and their names):

追加情報 (もし「はい」あるいは「一部」の場合、条約湿地の数と名前を記入する)
 釧路湿原、蕪栗沼・周辺水田、中海などの管理計画の中で記述されているものがある。
 また、棚田・水辺・河川流域等の景観地域8件を重要文化的景観としての選定、文化的景観保存計画の中で、文化的価値の記述、価値継続のための方向性等を取りまとめた。

Additional information on any other aspects of Strategy 1.4 implementation:

戦略 1.4 実施に係るその他の取組があれば追加情報として記載する。

STRATEGY 1.5 Recognition of the role of the Convention. *Raise the profile of the Convention by highlighting its capacity as a unique mechanism for wetland ecosystem management at all levels; promote the usefulness of the Convention as a possible implementation mechanism to meet the goals and targets of other global conventions and processes*

戦略 1.5 条約の役割の認識 湿地生態系を管理するための独自の仕組みである点を強調することによって、条約に関する認識を全てのレベルで高める。他の地球規模の条約や取組における目標達成のためにも有効な取組として条約を役立てていく

1.5.1 Have you taken steps to ensure that your national focal points for other environmental conventions are contributing to the application of Ramsar Convention implementation mechanisms? KRA 1.5.i

他の環境条約の政府担当窓口がラムサール条約履行メカニズムを動かすことを確実にしていくための対応を講じたか。

A - Yes

• 1.5.1 Additional information:

追加情報

1.5.2 Have you brought the "Changwon Declaration" (Resolution X.3) to the attention of your:

下記の者が、昌原宣言（決議 X.3）に注意を払うよう、促したか。

- a. head of state
国家元首
- b. parliament
議会
- c. private sector
民間企業
- d. civil society
市民社会

B - No

A - Yes

B - No

A - Yes

1.5.2 Additional information

追加情報: 議会においては、国会議員が参加するラムサール条約湿地を増やす議員の会において、周知された。市民社会においては、ラムサール条約に関連する NGO 等において周知された。

1.5.3 Has the “Changwon Declaration” been used to inform the positions of your national delegations to other external processes (such as the UN Commission on Sustainable Development, UN agencies, multilateral environmental agreements, and the World Water Forum)?

他の外部プロセス（例えば、持続可能な開発に関する国連委員会、国連機関、多国間協定、世界水フォーラム）に国の代表団の姿勢を伝えることに、昌原宣言は活用されたか。

C - Partly

1.5.3 Additional information:

追加情報
生物多様性条約において、代表団が認知し活用した。

1.5.4 Have you translated and disseminated the “Changwon Declaration” into local languages relevant for your country?

昌原宣言は自国の言語に翻訳され、普及したか。

A - Yes

1.5.4 Additional information:

追加情報
和訳した冊子の作成、およびその WEB への掲載を行った。

Additional information on any other aspects of Strategy 1.5 implementation:

戦略 1.5 実施における他の取組があれば追加情報として記載する。

STRATEGY 1.6 Science-based management of wetlands. Promote successful implementation of the wise use concept by ensuring that national policies and wetland management plans are based on the best available scientific knowledge, including technical and traditional knowledge.

戦略 1.6 科学に根ざした湿地管理。技術的および伝統的知識を含めた、最善の科学的知識に基づくものとするにより、賢明な利用概念の成功手法を促進させる。

1.6.1 Has research to inform wetland policies and plans been undertaken in your country on:

湿地政策および計画に追加情報を与えるため、下記の事項に係る研究を行ったか。

a. agriculture-wetland interactions

農業と湿地の相互作用

b. climate change

気候変動

c. valuation of ecosystem services

生態系サービスの評価

KRA 1.6.i

A - Yes

A - Yes

A - Yes

1.6.1 Additional information:

追加情報

農業者・市民・研究者で国内の「田んぼの生きもの調査」が継続して行われている。また NPO 法人の調査により水田には 5668 種の生きものが見つかったことが公表されている。また、NGO 等を中心に韓国での調査結果との情報共有がなされている。また、水田を利用する渡り鳥や希少種の生息する蕪栗沼・周辺水田（マガン）・佐渡（トキ）・豊岡（コウノトリ）などにおいて（水田を中心とした）農業と湿地に関する知見が集積された。

出典： 田んぼの生きもの全種リスト改訂版；農と自然の研究所

1.6.2 Have all wetland management plans been based on sound scientific research, including on potential threats to the wetlands? KRA 1.6.ii

全ての湿地管理計画は、湿地への潜在的脅威を含む健全な科学研究に基づいて策定されているか。

B - No

1.6.2 Additional information:

追加情報

Additional information on any other aspects of Strategy 1.6 implementation:

戦略 1.6 実施における他の取組があれば追加情報として記載する。

STRATEGY 1.7 Integrated Water Resources Management. *Ensure that policies and implementation of Integrated Water Resources Management (IWRM), applying an ecosystem-based approach, are included in the planning activities in all Contracting Parties and in their decision-making processes, particularly concerning groundwater management, catchment/river basin management, coastal and nearshore marine zone planning and climate change mitigation and/or adaptation activities*

戦略 1.7 統合的水資源管理 (IWRM)。生態系に根ざしたアプローチを適応しつつ IWRM の政策と実施を、全ての締約国において計画策定や政策決定過程、特に、地下水管理、集水域、河川流域管理、沿岸域と沿岸近くの海域のゾーニング計画策定、気候変動の適応活動に影響緩和・適応の活動等を含める。

<p>1.7.1 Has the Convention's water-related guidance (see Resolution IX.1. Annex C) been helpful in informing decision-making related to water resource planning and management? {1.4.1} KRA 1.7.i</p> <p>ラムサール条約の水関連の手引き（決議IX.1 附属書 C 参照のこと）は水資源計画および管理に関連する政策決定に利用/適用されているか。</p>	B - No
<p>1.7.1 Additional information: 追加情報</p>	
<p>1.7.2 Does your country's water governance and management treat wetlands as natural water infrastructure integral to water resource management at the scale of river basins? KRA 1.7.ii</p> <p>貴国の水に係る政策と管理は、流域単位での水資源管理に必要な不可欠な、天然の水のインフラとして、湿地を取り扱っているか。</p>	B - No
<p>1.7.2 Additional information: 追加情報</p>	
<p>1.7.3 Have Communication, Education, Participation and Awareness (CEPA) expertise and tools been incorporated into catchment/river basin planning and management (see Resolution X.19)? {1.4.2}</p> <p>CEPA（広報、教育、交流、普及啓発）の専門的知識やツールが集水域もしくは河川流域の計画および管理に盛り込まれているか？（決議 X.19 参照）</p>	A - Yes
<p>1.7.3 Additional information: 追加情報</p> <p>釧路湿原をはじめとする河川、湿原、干潟等の湿地で実施されているほとんどの自然再生事業の自然再生計画に環境教育の推進が盛り込まれている。</p>	
<p>1.7.4 Has the Convention's guidance on wetlands and coastal zone management (Annex to Resolution VIII.4) been used/applied in Integrated Coastal Zone Management (ICZM) planning and decision-making? {1.4.3}</p> <p>湿地と沿岸域管理に関するラムサール条約の手引き（決議VIII.4 の附属書）を、統合的沿岸域管理（ICZM）の計画立案および政策決定に利用/適用したか。</p>	C - Partly
<p>1.7.4 Additional information: 追加情報</p> <p>沿岸域の総合的管理をうたった海洋基本計画を 2008 年に策定。</p>	

<p>1.7.5 Has your country established policies or guidelines for enhancing the role of wetlands in mitigation and/or adaptation to climate change? KRA 1.7.iii 気候変動の影響緩和および/あるいは 適応に果たす湿地の役割を促進 する政策や指針を確立したか。</p>	B - No
<p>1.7.5 Additional information: 追加情報</p>	

<p>1.7.6 Has your country formulated plans or projects to sustain and enhance the role of wetlands and water in supporting and maintaining viable farming systems? KRA 1.7.v 持続的な農業システムのサポートや維持において、湿地そして水の役割を持続し増強するための計画や事業を策定したか。</p>	A - Yes
<p>1.7.6 Additional information: 追加情報 水田決議国際ワークショップを2度開催した。</p>	

Additional information on any other aspects of Strategy 1.7 implementation:
戦略 1.7 実施における他の取組みがあれば追加情報として記載する。

STRATEGY 1.8 Wetland restoration. Identify priority wetlands and wetland systems where restoration or rehabilitation would be beneficial and yield long-term environmental, social or economic benefits, and implement the necessary measures to recover these sites and systems.

戦略 1.8 湿地再生。湿地の再生や機能回復が有益で、長期にわたる環境的・社会的・経済的利益が得られる。優先度の高い湿地や湿地系を特定し、それらの回復に必要な施策を実施する。

<p>1.8.1 Have priority sites for wetland restoration been identified? {1.5.1} KRA 1.8.i 自然再生の 優先度の高い湿地は、特定されたか。</p>	A - Yes
<p>1.8.1 Additional information: 追加情報 自然再生の優先度の高い湿地に関する調査を実施しており、引き続き検討を行う。</p>	

<p>1.8.2 Have wetland restoration/rehabilitation programmes or projects been implemented? {1.5.1} KRA 1.8.i 湿地の再生/回復プログラムまたは事業は実施されたか。</p>	A - Yes
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------

1.8.2 Additional information:

追加情報

- 片野鴨池で鳥獣法に規定される保全事業の保全事業基本計画を作成し、現在実施計画を策定中であり、来年度以降に事業を実施する予定。
- 三方五湖では、自然再生保全協議会を2011年5月に立ち上げ、多様なステークホルダーでプログラムを策定中。
- 中海においては自然の浄化機能が低下している現状を踏まえ、2010年より水質浄化効果の認められるアマモ藻場を造成し、自然の浄化機能による持続的な水質浄化が可能な環境の再生を図ろうとする中海自然浄化機能回復事業を実施。
- 日光では増加したシカの対策及び調査防鹿柵設置、外来植物除去、遮水堰の設置、地下水のモニタリングそして水質改善のための窒素除去装置導入を実施。
- 尾瀬では尾瀬国立公園植生復元事業を実施中。
- 谷津干潟では2011年度から谷津干潟保全事業を実施中、また貧酸素、悪臭等の原因となっているアオサ除去作業を実施した。
- 佐潟では底泥の潟外排出や水生植物の枯死体を回収するなど、地元住民による「佐潟クリーンアップ活動（現代版潟普請）」を実施。
- 仏沼では地元NPOが中心となりオオセッカ生息数調査を実施している。農林水産省事業によるポンプ場の改修。また保護区内圃場整備事業計画もある。
- 伊豆沼ではオオクチバス防除事業を実施しているとともに、自然再生推進法に基づく自然再生協議会設立、全体構想策定、宮城県が策定した実施計画（沈水植物育成繁殖、マコモ植栽、ハス・ヨシ刈り取り、在来魚貝類の増殖・移植、試験導水、水位調整）により水質改善に向けた取組を実施。
- 蕪栗沼・周辺水田では陸地化防止のためヨシの焼き払いのほか、NPOによるヨシペレット（燃料）製造機器の導入、ペレット製造、販路等の取組の実施を行っている。
- 化女沼では環境省が保護区周辺ガン類調査を行ったほか、NPOが外来魚駆除に向けた勉強会を実施、また2011年度より民間企業のファンド助成金を活用しての外来魚駆除が実施されている。
- 釧路湿原において、自然再生事業が実施されている。
- クッチャロ湖においては、流入河川の一つで水質浄化対策を実施しているとともに、流入河川の一つで人工湿地を用いた水質浄化（富栄養化対策）を検討している。
- 宮島沼では流入土砂対策を検討している。
- サロベツ原野においては、自然再生事業として、放水路、水抜き水路の埋め戻し、ササ生育地の拡大抑制、サロベツ原生花園園地の移転、泥炭採掘跡地の再生等の事業を実施している。
- 金生水沼沢植物群落（国指定天然記念物）において、植物群落再生のために有識者も含めた保護増殖事業推進委員会を組織し、自然再生事業を実施。地下水の供給による乾燥化の防止等により、湿原の復元を行っている。

1.8.3 Has Ramsar guidance (Annex to Resolution VIII.16) or equivalent guidance on wetland restoration been used in designing and implementing wetland restoration/rehabilitation programmes or projects? {1.5.2}

湿地再生/回復プログラムまたは事業の実施において、ラムサール条約手引き（決議VIII.16.の附属書）または同様の指針を利用したか。

C - Partly

1.8.3 Additional information:

追加情報

自然再生推進法に基づく自然再生協議会を組織し、釧路湿原を含む河川、湿原、干潟等の湿地で実施されているが、これらの自然再生事業は、行政・専門家・NPO・地域住民等の多様な主体の参画を得ながら実施されている。

Additional information on any other aspects of Strategy 1.8 implementation:

戦略 1.8 実施における他の取組みがあれば追加情報として記載する。

- 中海と宍道湖では 2006 年から毎年地元住民が協働して、ラムサール条約湿地「中海・宍道湖一斉清掃」を行っている。2011 年は 7976 名が参加し、これまでで最も多い 17.8 トンのゴミを回収した。
- 大山上池・下池では、上池・下池を含む周辺一帯について鶴岡市が庄内自然博物館構想の基本計画を策定し、自然環境の保全と自然とふれあう自然環境学習などを行い、人と自然の共生に資することを目的とした取組を実施している。
- 釧路湿原、野付半島、風蓮湖周辺において侵略的外来種の駆除を実施している。
- 宮島沼においては、隣接する道路を走行する自動車のライトを遮る遮光壁、利用者の観察のためのバードウォッチング壁、利用者の立入を制限するゲートを設置し、マガン等の生息する鳥類への影響軽減を図った。
- ウトナイ湖においては、特定外来生物に指定されているアライグマの生態調査、駆除事業を実施している。

STRATEGY 1.9 Invasive alien species. Encourage Contracting Parties to develop a national inventory of invasive alien species that currently and/or potentially impact the ecological character of wetlands, especially Ramsar Sites, and ensure mutual supportiveness between the national inventory and IUCN's Global Register on Invasive Species (GRIS); develop guidance and promote procedures and actions to prevent, control or eradicate such species in wetland systems.

戦略 1.9 侵略的外来生物種。湿地、特に条約湿地の生態学的特徴に悪影響を及ぼしている、あるいはその可能性のある侵略的外来生物種の国内目録をつくり、その目録と IUCN の「地球規模侵入種登録簿 Global Register on Invasive Species (GRIS)」とが相互補完的になるよう締約国に奨励する。湿地系の侵略的外来生物種を予防、制御、根絶するための手引きを開発し、その手順や取組を進める。

1.9.1 Does your country have a comprehensive national inventory of invasive alien species that currently or potentially impact the ecological character of wetlands?
KRA 1.9.i

貴国は、現在、あるいは潜在的に湿地の生態学的特徴に強い影響を与えている侵略的外来生物種の包括的国別目録を有しているか。

A - Yes

1.9.1 Additional information:

追加情報

2004年6月に制定された「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）」に基づき、生態系等に係る被害を及ぼし、又は及ぼすおそれがあるものとして105（2011年8月現在）の「特定外来生物」を指定し、目録化している。これらの中には、生息・生育場所が湿地依存的な種が多数含まれる。

1.9.2 Have national invasive species control and management policies or guidelines been established for wetlands?

{1.6.1} KRa 1.9.iii

湿地における侵略的外来生物の抑制と管理を目指した政策、または指針が策定されているか。

A - Yes

1.9.2 Additional information:

追加情報

特定外来生物による生態系等に係る被害を防止するため、外来生物法に基づく特定外来生物被害防止基本方針を策定しているほか、88の特定外来生物について国が行う防除の内容等を定めて公示している。

これらに基づき、ラムサール条約湿地では、ウトナイ湖、釧路湿原、伊豆沼・内沼、琵琶湖、藪牟田池において、国の事業として特定外来生物の効果的防除手法の検討や地域主体の防除体制の整備などの取組を行っている。

Additional information on any other aspects of Strategy 1.9 implementation:

戦略 1.9 実施における他の取組があれば追加情報として記載する。

STRATEGY 1.10 Private sector. Promote the involvement of the private sector in the conservation and wise use of wetlands.

戦略 1.10 民間部門。湿地の保全と賢明な利用への民間部門の参画を促進する。

1.10.1 Is the private sector encouraged to apply the Ramsar wise use principle and guidance (Ramsar handbooks for the wise use of wetlands) in its activities and investments concerning wetlands? {4.2.1} KRA 1.10.i

民間セクターに湿地に関する活動と投資にラムサール条約の賢明な利用原則と手引き（ラムサール賢明な利用ハンドブック）を活用することを奨励したか。

B - No

1.10.1 Additional information:

追加情報

手引きは日本特有の事情等を鑑みると、必ずしも全てのケースにおいて活用できるものではない。

1.10.2 Has the private sector undertaken activities or actions for the wise and management of:

民間セクターは下記の賢明な利用と管理に向け活動や行動を起こしているか。

a. Wetlands in general

湿地全体

b. Ramsar Sites

ラムサール湿地

KRA 1.10.ii

A - Yes

A - Yes

1.10.2 Additional information:

追加情報

条約湿地及び湿地全体において民間企業の活動そのもの、及びその CSR の一環としての活動として、湿地の管理活動がなされている例は多くある。

また、草の根レベルの NGO、地方自治体、民間セクターなどの協働が進んでいる。またメディア等の協力も、特に CBD-COP 10 の開催を機に広がってきている。

1.10.3 Have awareness-raising materials been made available to enable wetland-friendly consumer choices? KRA 1.10.iii

湿地に優しい消費者行動が可能になるよう意識啓発を目的とした資料が利用可能な状態になっているか。

A - Yes

1.10.3 Additional information:

追加情報 条約湿地（蕪栗沼・周辺水田）などによる水稻栽培の取組を紹介した、ガイドブックを作成している。

Additional information on any other aspects of Strategy 1.10 implementation:

戦略 1.10 実施における他の取組があれば追加情報として記載する。

STRATEGY 1.11: Incentive measures. *Promote incentive measures that encourage the application of the wise use provisions of the Convention.*

戦略 1.11 奨励措置。条約の賢明な利用条項の適用を奨励する措置を促進する。

1.11.1 Have actions been taken to implement incentive measures which encourage the conservation and wise use of wetlands? {4.3.1} KRA 1.11.i
 湿地の保全と賢明な利用を促進するような誘導措置がとられたか。

A - Yes

1.11.1 Additional information:
 追加情報
 渡り鳥やその他希少野生動植物種の生息に配慮した水田農業を行い、それらの水田で収穫された米をブランド化し通常よりも高い値段で販売する事例や、このような取組に対する支援措置が講じられている。
 また、地域生物多様性保全活動支援事業により、湿地を含む地域の生物多様性保全活動を支援している。

1.11.2 Have actions been taken to remove perverse incentive measures which discourage conservation and wise use of wetlands? {4.3.2} KRA 1.11.i
 湿地の保全と賢明な利用に悪影響を及ぼす措置を排除する方策を講じたか。

A - Yes

1.11.2 Additional information:
 追加情報

Additional information on any other aspects of Strategy 1.11 implementation:
 戦略 1. 11 実施における他の取組があれば追加情報として記載する。

GOAL 2. WETLANDS OF INTERNATIONAL IMPORTANCE

目標 2. 国際的に重要な湿地

Note. An optional Annex (Section 4) to this COP11 National Report Format is provided so that a Contracting Party, if it so wishes, can also provide additional information separately on any of its designated Wetlands of International Importance (Ramsar Sites).

注 この COP11 国別報告書のフォーマットの附属書 4 節（セクション 4）は、締約国が希望するならば、どの国際的に重要な湿地（ラムサール湿地）に関してでも追加情報を別途提供することができる。

STRATEGY 2.1 Ramsar Site designation. Apply the “Strategic Framework and guidelines for the future development of the List of Wetlands of International Importance” (Handbook 14, 3rd edition).

戦略 2.1 条約湿地の指定。条約の「国際的に重要な湿地のリストを将来的に拡充するために戦略的枠組み及びガイドライン」（ラムサールハンドブック第 14 巻 第 3 版）を適用する。

<p>2.1.1 Have a national strategy and priorities been established for the further designation of Ramsar Sites, using the <i>Strategic Framework for the Ramsar List</i>? {2.1.1} KRA 2.1.i ラムサール条約湿地リストのための戦略的枠組みを用いることにより条約湿地を拡充するための国家戦略及び優先事項が策定されたか。</p>	A - Yes
<p>2.1.1 Additional information: 追加情報 条約湿地の登録基準に見合う、潜在候補地のリスト作成した。</p>	
<p>2.1.2 Have all required updates of the Information Sheet on Ramsar Wetlands been submitted to the Ramsar Secretariat? {2.2.1} KRA 2.1.ii 更新が必要な条約湿地の情報票はすべて条約事務局に提出されたか。</p>	C - Partly

2.1.2 Additional information: 追加情報	
2.1.3 How many Ramsar Site designations in your country have been submitted to the Secretariat but are not yet placed on the List of Wetlands of International Importance? KRA 2.1.iii 貴国において、事務局に提出された条約湿地で国際的に重要な湿地のリストにまだ記載のないものの数はいくつか。	0 sites
2.1.3 Additional information: 追加情報	
2.1.4 If further Ramsar Site designations are planned for the next triennium (2012-2015), please indicate how many sites (otherwise indicate 0) KRA 2.1.iii 次期3年(2012-2015)に更にラムサール湿地登録を計画している場合、その数を記入。(ない場合は0と記入のこと。)	6 sites
2.1.4 Additional information (please indicate the anticipated year of designation): 追加情報 (予定登録年を記入すること。) 2012年登録に向け、現在、地元自治体等と調整を行っているところ。	

Additional information on any other aspects of Strategy 2.1 implementation:

戦略 2.1 実施における他の取組があれば追加情報として記載する。

STRATEGY 2.2 Ramsar Site information. *Ensure that the Ramsar Sites Information Service . . . is available and enhanced as a tool for guiding the further designation of wetlands for the List of Wetlands of International Importance and for research and assessment, and is effectively managed by the Secretariat.*

戦略 2.2 条約湿地の情報。「条約湿地データベース」を含んだ「条約湿地情報サービス」が、さらなる条約湿地の選定を導くツールとして、また調査研究と評価のためのツールとして、利用可能であり増強されており、ならびにそれが条約事務局によって効果的に管理されている。

2.2.1 Are the Ramsar Sites Information Service and its tools being used in national identification of further Ramsar Sites to designate? {2.2.2} KRA 2.2.ii 「条約湿地データサービス」は、さらなる条約湿地選定を導く際のツールとして利用されているか。	B - No
2.2.1 Additional information: 追加情報	

Additional information on any other aspects of Strategy 2.2 implementation:

戦略 2.2 実施における他の取組があれば追加情報として記載する。

STRATEGY 2.3 Management planning - new Ramsar Sites. *While recognizing that Ramsar Site designation can act as a stimulus for development of effective site management plans, generally encourage the philosophy that all new Ramsar Sites should have effective management planning in place before designation, as well as resources for implementing such management.*

戦略 2.3 湿地管理計画策定-新たな条約湿地。条約湿地指定が当該湿地の効力のある管理計画の策定の契機になりうることを認識しつつ、新たな条約湿地は全て、効果的な管理計画策定が指定以前に開始されているべきで、管理に必要な資源も確保しているべきである、という考え方を全般的に奨励する。

2.3.1 Have all sites being prepared for Ramsar designation (2.1.2 above) had adequate management planning processes established? KRA 2.3.i

ラムサール条約登録に向けて取り組んでいる全ての湿地 (2.1.2) において適切な管理計画づくりも同時に進行しているか。

A - Yes

2.3.1 Additional information:

追加情報 我が国ではすべてのラムサール条約湿地が国立・国定公園、国指定鳥獣保護区特別保護地区、生息地保護区に指定されている。これらの地域における湿地の保全管理はそれぞれ、自然公園の公園計画、鳥獣保護区の指定計画、生息地等保護区の保護に関する指針に基づき行われており、これらの計画は直接的に条約の「管理計画策定ガイドライン」に基づいて策定されるものではない。但し、国指定鳥獣保護区の管理計画の策定に同ガイドラインを活用した事例もある。なお、その他に関係自治体等により条約湿地に係る保全管理計画が策定されている事例もある。

Additional information on any other aspects of Strategy 2.3 implementation:

戦略 2.3 実施における他の取組みがあれば追加情報として記載する。

STRATEGY 2.4 Ramsar Site ecological character. *Maintain the ecological character of all designated Ramsar Sites, through planning and management*

戦略 2-4 条約湿地の生態学的特徴 全ての条約湿地の生態学的特徴を、計画策定と管理を通じて、維持する。

2.4.1 How many Ramsar Sites have a management plan?

{2.3.2} KRA 2.4.i

管理計画がある条約湿地数はいくつか。

37 sites

2.4.2 For those Ramsar Sites with a management plan, for how many is the management plan being implemented? KRA 2.4.i

管理計画のある条約湿地のうち、それが実施されている湿地数はいくつか。

37 sites

2.4.3 How many Ramsar Sites have a management plan in preparation? KRA 2.4.

管理計画が準備段階の条約湿地数はいくつか。

0 sites

<p>2.4.4 For those Ramsar Sites with a management plan, for how many is the management plan being revised or updated? KRA 2.4.i</p> <p>管理計画のある条約湿地のうち、計画が修正あるいは更新された湿地数はいくつか。</p>	5 sites
<p>2.4.1 – 2.4.4 Additional information: 追加情報</p>	
<p>2.4.5 Do the Ramsar Site management plans establish the maintenance of the ecological character as a management objective? KRA 2.4.ii</p> <p>ラムサール条約湿地の管理計画は、管理目標として生態学的特徴の維持を設定しているか。</p>	A - Yes
<p>2.4.5 Additional information: 追加情報</p>	
<p>2.4.6 How many sites have a cross-sectoral management committee? {2.3.3} KRA 2.4.iv</p> <p>部門を越えた管理委員会がある条約湿地の数はいくつか。</p>	14 sites
<p>2.4.6 Additional information (If at least “1 site”, please name the site(s)): 追加情報 (少なくとも “1つの湿地”の名称を記入する)</p> <p>釧路湿原、サロベツ原野、中海における自然再生協議会の他、クッチャロ湖、濤沸湖、風蓮湖、春国岱、仏沼、伊豆沼、内沼、佐潟、片野鴨池、蕪栗沼、藤前干潟、琵琶湖、くじゅう坊ガツル・タデ湿原、漫湖において湿地保全のための協議会や委員会が設置されている。</p> <p>また、各湿地の個別の協議会の他に、北海道ラムサールネットワークや釧路湿原ウェットランドセンターのような複数の条約湿地を包括する広域的連携組織も存在する。</p>	
<p>2.4.7 For how many sites has an ecological character description been prepared? KRA 2.4.v</p> <p>生態学的特徴の記載がなされている条約湿地はいくつか。</p>	37 sites
<p>2.4.7 Additional information (If at least “1 site”, please give the site(s) name and official number): 追加情報 (少なくとも “1つの湿地”の名称と公式番号を記入する)</p> <p>釧路湿原 (no.205) はじめ、全てのサイトについて行われている。</p>	
<p>Additional information on any other aspects of Strategy 2.4 implementation: 戦略 2.4 実施における他の取組みがあれば追加情報として記載する。</p>	

STRATEGY 2.5 Ramsar Site management effectiveness. Review all existing Ramsar Sites to determine the effectiveness of management arrangements, in line with the “Strategic Framework and guidelines for the future development of the List of Wetlands of International Importance”.

戦略 2-5 条約湿地管理の効力。条約の「国際的に重要な湿地のリストを将来的に拡充するための戦略的枠組み及びガイドライン」に沿って、全ての条約湿地について、管理のための取り決めに効果があるかないかを検討し総括する。

2.5.1 Have any assessments of Ramsar Site management effectiveness been carried out? {2.3.4} KRA 2.5.i

ラムサール条約湿地の管理の効果についての評価は行われたか。

C - Some sites

2.5.1 Additional information (if "Yes" or "Some sites", please indicate the year of assessment and from whom, or from where, the information is available):

追加情報（「はい」あるいは「数カ所」の場合、評価の実施年および情報の出所を記入のこと。）

鳥獣保護区の管理計画改定に際し、必要に応じて行われている。

Additional information on any other aspects of Strategy 2.5 implementation:

戦略 2.5 実施における他の取組があれば追加情報として記載する。

STRATEGY 2.6 Ramsar Site status. Monitor the condition of Ramsar Sites and address negative changes in their ecological character, notify the Ramsar Secretariat of changes affecting Ramsar Sites, and apply the Montreux Record, if appropriate, and Ramsar Advisory Mission as tools to address problems

戦略 2-6 条約湿地の現状。条約湿地の状態をモニタリングして、その生態学的特徴の悪化に対処し、条約事務局に条約湿地に影響を及ぼす変化を通達し、適切な場合には問題に対処するツールとして「モントルーレコード」と「ラムサール諮問調査団」を適用する。

2.6.1 Are arrangements in place for the Administrative Authority to be informed of negative human-induced changes or likely changes in the ecological character of Ramsar Sites, pursuant to Article 3.2? {2.4.1} KRA 2.6.i

ラムサール条約湿地における人為的活動による生態学的特徴の悪化、または類似した事態を、条約 3 条 2 の要件に沿って管理当局に通達する手配をしたか。

A - Yes

2.6.1 Additional information (if "Yes" or "Some sites", please summarise the mechanism(s) established):

追加情報（「はい」あるいは「数カ所」の場合、仕組みを要約して記入のこと。）

各湿地を管轄する地方環境事務所が管理当局に連絡する。また、生物多様性センターが湖沼、干潟、サンゴ礁などの湿地を対象に含める自然環境保全基礎調査やモニタリングサイト 1000 の結果を管理当局に報告する。

2.6.2 Have all cases of negative human-induced change or likely change in the ecological character of Ramsar Sites been reported to the Ramsar Secretariat, pursuant to Article 3.2,? {2.4.2} KRA 2.6.i

条約湿地における人為的活動による生態学的悪化、または類似した事態に関し全て、条約第3条2の要件に沿って条約事務局に報告したか。

Z - No negative change

2.6.2 Additional information (if "Yes" or "Some cases", please indicate for which Ramsar Sites Article 3.2 reports have been made by the Administrative Authority to the Secretariat, and for which sites such reports of change or likely change have not yet been made):

追加情報（「はい」あるいは「数カ所」の場合、どの条約湿地に関し条約第3条2項に従い管理当局から条約事務局に報告されたか、またどの条約湿地に関し変化または類似した変化の報告がまだなされていないのかを明記すること。）

2.6.3 If applicable, have actions been taken to address the issues for which Ramsar Sites have been listed on the Montreux Record, including requesting a Ramsar Advisory Mission? {2.4.3} KRA 2.6.ii

該当する場合に、条約湿地がモンテルーレコードに記載される原因となった問題に対してラムサール諮問調査団に要請することを含め、方策を講じたか。

Z - Not applicable

2.6.3 Additional information (if "Yes", please indicate the actions taken):

追加情報（「はい」の場合は講じられた方策を記入すること。）

Additional information on any other aspects of Strategy 2.6 implementation:

戦略 2.6 実施における他の取組みがあれば追加情報として記載する。

STRATEGY 2.7 Management of other internationally important wetlands. *Appropriate management and wise use achieved for those internationally important wetlands that have not yet been formally designated as Ramsar Sites but have been identified through domestic application of the Strategic Framework or an equivalent process.*

戦略 2-7 その他の国際的に重要な湿地の管理。まだ公式に条約湿地に指定されていないが、条約の「国際的に重要な湿地のリストを将来的に拡充するための戦略的枠組み及びガイドライン」或いは同等のプロセスの国内での適用を通じて、条約湿地の要件を満たしている国際的に重要な湿地について、その適切な管理と賢明な利用が達成されている。

2.7.1 Has the ecological character of internationally important wetlands not yet designated as Ramsar Sites been maintained? KRA 2.7.i

ラムサール条約湿地に登録されていない国際的に重要な湿地の生態学的特徴は維持されているか。

C - Some sites

2.7.1 Additional information:

追加情報

東日本大震災により、一部沿岸域において地盤沈下等の影響がでている。
また、沖縄県の泡瀬干潟において、人工島を作る大規模な埋立て計画が進んでいる等、一部において生態学的特徴の部分的な喪失が懸念されている。

Additional information on any other aspects of Strategy 2.7 implementation:

戦略 2.7 実施における他の取組があれば追加情報として記載する。

NGO 等による清掃活動や調査、自然公園内にある湿地の、自然公園法に基づく管理等により、一定程度適切な管理及び賢明な利用の推進を行っている。

GOAL 3. INTERNATIONAL COOPERATION

目標 3. 国際的な協力

STRATEGY 3.1 Synergies and partnerships with MEAs and IGOs. *Work as partners with international and regional multilateral environmental agreements (MEAs) and other intergovernmental agencies (IGOs)*

戦略 3.1 多国間環境協定等との相乗作用とパートナーシップ 国際的ならびに、地域的な多国間環境協定 (MEAs) や他の政府間機関 (IGOs) とパートナーとして協働する。

3.1.1 Are mechanisms in place at the national level for collaboration between the Ramsar Administrative Authority and the focal points of other multilateral environmental agreements (MEAs)? {3.1.1} KRAs 3.1.i & 3.1.ii

ラムサール条約担当政府機関と他の多国間環境協定 (MEAs) の担当窓口との連携を目指した国レベルの仕組みがあるか。

B - No

3.1.1 Additional information:

追加情報

わが国では、ラムサール条約と関連する各種条約との間の連携・調整のための省庁間の仕組みは有していないが、外交当局である外務省地球環境課において、多数国間環境条約を一括して所掌しているほか、他の多数国間環境協定 (MEAs) の担当部局へ適宜情報を提供し、必要に応じて協議、調整を行っている。

3.1.2 Are the national focal points of other MEAs invited to participate in the National Ramsar/Wetland Committee? {3.1.2} KRA KRAs 3.1.i & 3.1.iv

多国間環境協定の国の担当窓口は、国内のラムサール条約/湿地委員会への出席について招聘されているか。

B - No

3.1.2 Additional information:

追加情報

多国間環境協定の国の担当窓口は、国内のラムサール条約/湿地委員会への出席に招聘されていない。

3.1.3 Are mechanisms in place at the national level for collaboration between the Ramsar Administrative Authority and the focal points of UN and other global and regional bodies and agencies (e.g. UNEP, UNDP, WHO, FAO, UNECE, ITTO, etc)? KRA 3.1.iv

ラムサール条約管理当局と国連担当窓口、そしてその他の地球規模、または地域レベルの組織や政府機関（例：国連環境計画(UNEP)、国連開発計画(UNDP)、国連世界保健機関(WHO)、国連食糧農業機関(FAO)、国連欧州経済委員会(UNECE)、国際熱帯木材機関(ITTO)等）との連携のための国レベルの仕組みがあるか。

B - No

3.1.3 Additional information:

追加情報

3.1.4 [For African Contracting Parties only] Has the Contracting Party participated in the implementation of the wetland programme under NEPAD? {3.1.3} KRA 3.1.iii

(アフリカの締約国のみ回答) 締約国は「アフリカ開発のための新パートナーシップ」(NEPAD)に基づく湿地プログラム策定に参画したか。

Z - Not applicable

3.1.4 Additional information:

追加情報

Additional information on any other aspects of Strategy 3.1 implementation:

戦略 3.1 実施における他の取組みがあれば追加情報として記載する。

我が国では、ラムサール条約と関連する各種条約との間の連携・調整のための省庁間の仕組みは有していないが、外交当局である外務省地球環境課において、多数国間環境条約を一括して所掌しているほか、他の多数国間環境協定 (MEAs) の担当部局へ適宜情報を提供し、必要に応じて協議、調整を行っている。

また、生物多様性条約に基づく生物多様性国家戦略に関する省庁間連絡会議が設置され、生物多様性保全にかかる連携・調整が図られている。

STRATEGY 3.2 Regional initiatives. Support existing regional arrangements under the Convention and promote additional arrangements.

戦略 3-2 条約の地域イニシアティブ。条約の下での地域的取り決めにおいて、既存のものを支援し、追加のものを促進する。

3.2.1 Has the Contracting Party been involved in the development and implementation of a Regional Initiative under the framework of the Convention? {2.6.1} KRA 3.2.i

条約の枠組みの下にある地域イニシアティブの策定と実施に締約国は取り組んだか。

A - Yes

3.2.1 Additional information (If “Yes” or “Planned”, please indicate the regional initiative(s) and the collaborating countries of each initiative):

追加情報（「はい」あるいは「計画中」の場合、各地域イニシアティブの名称と協力国名を記入のこと）

東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップの推進等を支援している。

3.2.2 Has your country provided support to, or participated in, the development of other regional (i.e., covering more than one country) wetland training and research centres? {4.10.1}

地域（1カ国より多くの国をカバーするもの）の湿地研修・研究センターの設置に支援、または、参画したか。

3.2.2 Additional information (If “Yes”, please indicate the name(s) of the centre(s):

追加情報（「はい」の場合、センターの名称を記入すること。）

- JICAによるマレーシアサバ州におけるコタキナバル湿地センターボルネオ生物多様性・生態系保全プログラム（BBEC）を実施。
- JICAによる日本における湿地管理に係る研修を実施。

Additional information on any other aspects of Strategy 3.2 implementation:

戦略 3.2 実施における他の取組があれば追加情報として記載する。

STRATEGY 3.3 International assistance. *Promote international assistance to support the conservation and wise use of wetlands, while ensuring that environmental safeguards and assessments are an integral component of all development projects that affect wetlands, including foreign and domestic investments.*

戦略 3.3 国際援助。 海外投資も国内投資も含めて、湿地に影響を及ぼす開発プロジェクトの全てについて、環境上の安全対策や影響評価がそれらの必須の構成要素となるようにするとともに、湿地の保全と賢明な利用を支援する国際援助を促進する。

<p>3.3.1 [For Contracting Parties with development assistance agencies only (“donor countries”)]: Has funding support been provided from the development assistance agency for wetland conservation and management in other countries? {4.5.1} KRA 3.3.i</p> <p>[開発援助機関を持つ締約国（ドナー）に対して] 他国の湿地保全と管理のために、開発援助機関を通じた資金援助を行っているか。</p>	<p>A - Yes</p>
<p>3.3.1 Additional information (If “Yes”, please indicate the countries supported since COP10):</p> <p>追加情報（「はい」あるいは「数カ国」の場合、第10回締約国会議以降援助を行った国を、明記すること。</p> <p>わが国は、湿地の保全を含む環境関連分野での協力を重視しており、ラムサール条約関連案件として、第10回締約国会議以降、技術協力をマレーシア、マリ、イラン、ウガンダ、コスタリカに対して実施した。加えて、ミャンマー、インドネシア、オマーンに対しては、マングローブ保全に焦点を当てた技術協力を実施した。また、わが国はラムサール条約小規模無償基金への追加的な自主貢献を実施している。わが国としては、途上国におけるキャパシティー・ビルディング等を目的とした小規模無償基金の重要性を認識しており、今後とも本件拠出を実施できるように努めていく。同基金より援助を行った国名：ネパール(2010年度)。</p>	
<p>3.3.2 [For Contracting Parties with development assistance agencies only (“donor countries”)]: Have environmental safeguards and assessments been included in development proposals proposed by your development assistance agency? KRA 3.3.ii</p> <p>[開発援助機関を持つ締約国（ドナー）に対して] 環境保護措置と影響評価は開発援助機関が提出する開発に向けた提案内容に盛り込まれているか。</p>	<p>A - Yes</p>
<p>3.3.2 Additional information:</p> <p>追加情報</p> <p>JICAは2010年4月に「JICA環境社会配慮ガイドライン」を公布し、事業の各段階において環境社会配慮が適切に行われるように支援・確認を行っており、事業の形成・審査・実施段階においても、環境影響評価及びモニタリング等を行い、環境社会に配慮した適切な事業の実施に努めている。</p>	

3.3.3 [For Contracting Parties that have received development assistance only (“recipient countries”): Has funding support been received from development assistance agencies specifically for in-country wetland conservation and management? {4.5.2}

[開発援助を受けた締約国に対して]

特に国内の湿地の保全と管理のために、開発援助機関からの資金援助が分配されたか。

Z - Not applicable

3.3.3 Additional information (If “Yes”, please indicate from which countries/agencies since COP10):

追加情報（「はい」あるいは「数カ国」の場合、第10回締約国会議以降援助を受けた国名を記入すること。）

Additional information on any other aspects of Strategy 3.3 implementation:

戦略 3.3 実施における他の取組があれば追加情報として記載する。

他に、環境省による、カンボジア・ベトナム・タイ・ミャンマー・マレーシアにおける湿地管理促進業務がある。

STRATEGY 3.4 Sharing information and expertise. Promote the sharing of expertise and information concerning the conservation and wise use of wetlands.

戦略 3.4 情報と専門技術の共有。湿地の保全を賢明な利用に関する専門技術と情報の共有を促進する。

3.4.1 Have networks, including twinning arrangements, been established, nationally or internationally, for knowledge sharing and training for wetlands that share common features? {3.2.1}

知識の共有および研修のため、共通の特徴を持つ湿地の国内および国際的な姉妹湿地連携を含めたネットワークを確立したか。

A - Yes

3.4.1 Additional information (If “Yes” or “Partly”, please indicate the networks and wetlands involved):

追加情報（「はい」あるいは「一部」の場合、該当するネットワークや湿地を明記すること。）

釧路湿原、霧多布湿原、厚岸湖・別寒辺牛湿原と豪州クーラガング湿地、谷津干潟と豪州ブーンドル湿地、藤前干潟と豪州ジーロン市の湿地等との姉妹湿地提携が実現している。

また、ICRI 東アジア地域サンゴ礁保護区ネットワーク戦略に基づき、東アジアでサンゴ礁保護区ネットワークの形成のためワークショップを開催している。また、ICRI の下で、地球規模サンゴ礁モニタリングネットワーク (GCRMN) の活動に積極的に関わっている。

また、EAAFP の推進に積極的に関わっており、ネットワークサイトとして、近年では風蓮湖・春国岱が新規に東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップに加入した。

3.4.2 Has information about your country's wetlands and/or Ramsar Sites and their status been made publicly available (e.g., through publications or a website)? {3.2.2}

貴国の湿地および/あるいは条約湿地とその現状の情報は公開されているか。(例 出版物、ウェブサイトを媒体として)

A - Yes

3.4.2 Additional information:

追加情報

国内の湿地情報については『日本の重要湿地500』として自然環境局自境計画課及び生物多様性センターが運営する『インターネット自然研究所』にて、英語版を含め、一般公開している。また、湿地に関する情報を含む自境保全基礎調査の結果については『生物多様性情報システム (J-IBIS)』にて一般公開している。ラムサール条約湿地の情報については、パンフレット環境省のウェブサイト上で一般公開している。

登録湿地については、多種パンフレットやチラシを作成したりウェブサイトにて情報を掲載するなどして公開している。

釧路湿原をはじめとする河川、湿原、干潟等の湿地で実施されている自然再生推進法に基づく自然再生事業の情報はパンフレットや環境省のウェブサイトに掲載され、公開されている。

3.4.3 Has information about your country's wetlands and/or Ramsar Sites been transmitted to the Ramsar Secretariat for dissemination? KRA 3.4.ii

広く情報が渡るよう、貴国の湿地および/或いは条約湿地の情報は、条約事務局に伝達されているか。

A - Yes

3.4.3 Additional information:

追加情報

CEPA 活動等の報告、また AWC データの送付を行っている。

Additional information on any other aspects of Strategy 3.4 implementation:

戦略 3.4 実施における他の取り組みがあれば追加情報として記載する。

STRATEGY 3.5 Shared wetlands, river basins and migratory species. Promote inventory and cooperation for the management of shared wetlands and hydrological basins, including cooperative monitoring and management of shared wetland-dependent species.

戦略 3.5 国境をまたぐ湿地・河川流域・移動性動物種。国境をまたぐ湿地に依存している生物種のモニタリングや管理の協力も含め、国境をまたぐ湿地や水文学的流域の目録作りや管理のための協力を促進する。

3.5.1 Have all transboundary/shared wetland systems been identified? {2.5.1} KRA 3.5.i

すべての国境をまたぐ湿地または各国が共有する湿地は識別されたか。

Z - Not applicable

3.5.1 Additional information:

追加情報

3.5.2 Is effective cooperative management in place for shared wetland systems (for example, in shared river basins and coastal zones)? {2.5.2} KRA 3.5.ii

各国が共有する湿地（例えば、共有される河川流域や沿岸地帯）は、効果的に共同管理されているか。

Z - Not applicable

3.5.2 Additional information (if “Yes” or “Partly”, please indicate for which wetland systems such management is in place):

追加情報（「はい」あるいは「一部」の場合、どの湿地にそのような管理が行われているのか明記すること。）

3.5.3 Does your country participate in regional networks or initiatives for wetland-dependent migratory species? KRA 3.5.iii

湿地に依存する渡りを行う動物種に関しての地域ネットワークあるいはイニシャティブに取り組んでいるか。

A - Yes

3.5.3 Additional information:

追加情報

東アジア・オーストラリア地域水鳥フライウェイパートナーシップを積極的に支援している。また二国間渡り鳥条約を締結し、中国・韓国・米国・オーストラリア・ロシアと渡り鳥保全のための情報交換や共同調査を行っている。

Additional information on any other aspects of Strategy 3.5 implementation:

戦略 3.5 実施における他の取組みがあれば追加情報として記載する。

国家同士の共有湿地ではないが、国内の地方行政区域をまたぐ湿地に関しては行政機関の間の取り組みの違いがあり、国境をまたぐ湿地と同じ問題を抱えている湿地もある。

GOAL 4. IMPLEMENTATION CAPACITY

目標 4. 実行能力

STRATEGY 4.1 CEPA. *Support, and assist in implementing at all levels, where appropriate, the Convention's Communication, Education, Participation and Awareness Programme (Resolution X.8) for promoting the conservation and wise use of wetlands through communication, education, participation awareness (CEPA) and work towards wider awareness of the Convention's goals, mechanisms, and key findings.*

戦略 4.1 交流、教育、参加、普及啓発(CEPA)。湿地の保全と賢明な利用を交流・教育・参加・普及啓発を通じて促進するために、条約の CEPA プログラム(決議 X8)の適切な実施を全てのレベルで支援し協力する。また、条約の最終目標や仕組み、主要な発見などについての広範な啓発に取り組む。

4.1.1 Has/have an Action Plan/Plans for wetland CEPA been established? {4.4.2} KRA 4.1.i

湿地 CEPA のために行動計画は確立しているか。

- a) At the national level
国家レベル
- b) Sub-national level
地方レベル
- c) Catchment/basin level
集水域/流域レベル
- d) Local/site level
地元/個々の湿地レベル

(Even if no CEPA plans have been developed, if broad CEPA objectives for CEPA actions have been established, please indicate this below in the Additional information section below)

(もし、CEPA 計画が策定されていないとしても、CEPA 行動のための広範な CEPA の目的が設立された場合には、下記追加的実施情報欄に明示すること。)

C - In progress
C - In progress
B - No
C - In progress

4.1.1 Additional information (if "Yes" or "In progress" to one of the four questions above, please describe the mechanism, and identify if it has involved CEPA NFPs):

追加情報 (もし、上記の4つの問いのうち「はい」あるいは「進行中」の回答がある場合、仕組みを記載し CEPA NFP の関与があれば特定すること。)

d)に関して、

- 琵琶湖ラムサール条約連絡協議会などの地域におけるワイズユースへ向けた協議会の設置
- 釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会で作成された「釧路湿原自然再生普及行動計画」、上サロベツ自然再生協議会で作成された「上サロベツ自然再生普及行動計画」、「石西礁湖自然再生マスタープラン」、「石西礁湖自然再生全体構想」、「中海自然再生全体構想」が相当する。

<p>4.1.2 How many centres (visitor/interpretation/education) have been established at Ramsar Sites and other wetlands? {4.4.6} KRA 4.1.ii</p> <p>条約湿地およびその他の湿地で設立されたセンター(訪問者/インタープリテーション/教育)の数はいくつか。</p>	27 centres
<p>4.1.2 Additional information (If centres are part of a national or international network, please describe the network(s)):</p> <p>追加情報(もし、センターが国または国際ネットワークの一環である場合、ネットワーク名を記載すること。)</p> <p>2012年に湊沸湖に水鳥・湿地センターが開館予定。</p>	
<p>4.1.3 Does the Contracting Party:</p> <p>締約国は、</p> <p>a) promote public participation in decision-making with respect to wetland planning and management</p> <p>湿地計画、管理に関し、その意思決定に市民参加を促進しているか。</p> <p>b) specifically involve local stakeholders in the selection of new Ramsar Sites and in Ramsar Site management?</p> <p>新規条約湿地選定や既存の条約湿地管理に実際に地元利害関係者を関与させているか。</p> <p>{4.1.3} KRA 4.1.iii</p>	C - Partly C - Partly
<p>4.1.3 Additional information (if "Yes" or "Partly", please provide information about the ways in which local communities are involved):</p> <p>追加情報 (もし「はい」あるいは「一部」である場合は、地元コミュニティの関与について情報を提供すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 蕪栗沼・周辺水田のような水田を有するラムサールサイト等は地域の綱に住民の方々の生計と湿地の保全及びワイズユースが密接な関係があり、そういった方々が主体となる湿地管理のあり方を模索する必要がある。 ● 釧路湿原を始めとする河川、湿地、干潟等で実施されている自然再生事業では、行政・専門家・NPO・地域住民等の多様な主体の参画のもと自然再生協議会を設置し、全体構想及び実施計画を策定している。 	
<p>4.1.4 Has an assessment of national and local training needs for the implementation of the Convention been made? {4.10.2} KRAs 4.1.iv & 4.1.viii</p> <p>条約履行に関し、国、地元レベルの研修の必要性について評価を行ったか。</p>	B - No
<p>4.1.4 Additional information:</p> <p>追加情報</p>	

<p>4.1.5 How many opportunities for wetland site manager training have been provided since COP10? {4.10.3} KRA 4.1.iv COP10 以来湿地管理者に何度の研修を行ったか。</p>	
<p>4.1.5 Additional information (including whether the Ramsar Wise Use Handbooks were used in the training): 追加情報</p>	
<p>4.1.6 Do you have an operational National Ramsar/Wetlands Committee (or equivalent body)? {4.8.2} 国内でラムサール条約湿地（または湿地）国内委員会（または同等の機関）が設置され運営されているか。</p>	A - Yes
<p>4.1.6 Additional information (If "Yes", indicate a) its membership; b) its frequency of meetings; and c) what responsibilities the Committee has): 追加情報（もし「はい」であれば a) 会員数 b) 会議の頻度 c) 委員会の責務を記入すること。） a)会員数 28、 b)COP 前後 c)情報交換</p>	
<p>4.1.7 Are other communication mechanisms (apart from a national committee) in place to share Ramsar implementation guidelines and other information between the Ramsar Administrative Authority and 条約策定指針や他の情報共有のため、条約管理当局と下記の機関の間でその他の意思疎通の仕組みが構築されているか。</p> <p>a. Ramsar Sites managers? 条約湿地管理者</p> <p>b. other MEA national focal points? その他 MEA 担当窓口</p> <p>c. relevant ministries, departments and agencies? 関連省庁、部署、政府機関 {4.4.3} KRA 4.1.vi</p>	C - Partly B - No A - Yes
<p>4.1.7 Additional information (If "Yes" or "Partly", please describe what types of mechanism are in place): 追加情報（もし「はい」あるいは「一部」の場合は仕組みの種類を記載すること。） a: ラムサール条約湿地を有する市町村の市町村連絡会議窓口を通じた情報共有。 c: 関係省庁連絡会議を設置し、情報共有をしている。</p>	
<p>4.1.8 Have World Wetlands Day activities, either government and NGO-led or both, been carried out in the country since COP10? {4.4.5} COP10 以来、国内の世界湿地の日に関する活動が、政府主導、NGO ベース、あるいは双方により実施されたか。</p>	A - Yes

4.1.8 Additional information:

追加情報

- ・環境省、NGO が協働でラムサール条約の世界湿地の日のキットを紹介した。
- ・2011 年の世界湿地の日では、ラムサール条約 40 周年記念事業と併せて、記念シンポジウムを行った。

4.1.9 Have campaigns, programmes, and projects (other than for World Wetlands Day) been carried out since COP10 to raise awareness of the importance of wetlands to people and wildlife and the ecosystem benefits/services provided by wetlands? {4.4.4}

湿地によりもたらされる生態系の恩恵/サービスに関し、地域住民に対し人間や野生生物における湿地の重要性に関する普及啓発を進めるためキャンペーン、プログラムまたは事業（世界湿地の日以外）が実施されたか。

A - Yes

4.1.9 Additional information (including, if support has been provided for the delivery of these and other CEPA activities by other organisations, please indicate this):

追加情報（もし、CEPA の上記あるいはその他の活動のために、他の機関からサポートが行われた場合、明記すること。）

- ・日本で初めてのラムサール条約湿地が登録されてから 30 周年を祝う記念事業の実施
- ・ラムサール条約 40 周年を記念したシンポジウムの実施
- ・パンフレット、ポスターの作成
- ・DVD の作成
- ・エコライフフェアにおける普及啓発活動
- ・地元地域や小学校、NGO による各種自然観察会や森林教室、シンポジウム等の実施
- ・サンゴ礁生態系保全行動計画の策定作業の中で、日本のサンゴ礁の生態系サービスの経済的価値を試算し、勉強会を企画した。

Additional information on any other aspects of Strategy 4.1 implementation:

戦略 4.1 実施における他の取組みがあれば追加情報として記載する。

環境省にてワイズユースに係るパンフレットを作成した。

STRATEGY 4.2 Convention financial capacity. *Provide the financial resources necessary for the Convention's governance, mechanisms and programmes to achieve the expectations of the Conference of the Contracting Parties, within the availability of existing resources and by the effective use of such resources; explore and enable options and mechanism for mobilization of new and additional resources for implementation of the Convention.*

戦略 4.2 条約の財務能力。条約運用や仕組み、プログラムの実施が締約国会議の期待を果たせるよう、必要な予算を利用可能な既存の財政資源を効果的に用いることによって確保する。条約履行のための新たな資金を結集するための選択や仕組みを探求し実現する。

4.2.1

a) Have Ramsar contributions been paid in full for 2009, 2010, 2011? {4.6.1} KRA 4.2.i

ラムサール拠出金は 2009 年、2010 年、2011 年において、全額支払われたか。

A - Yes

b) If "No" in 4.2.1 a), please clarify what plan is in place to ensure future prompt payment:

4. 6. 1. の a) で「いいえ」の場合今後の速やかな支払いを確約するための計画を明記すること。

日本は 2009 年、2010 年、2011 年にラムサール条約の拠出金を全額支払った。なお、拠出額は 2009 年 710, 870 スイスフラン、2010 年 561, 843 スイスフラン 2011 年 586, 034 スイスフラン。

4.2.2 Has any additional financial support been provided through voluntary contributions to non-core funded Convention activities? {4.6.2} KRA 4.2.i

ラムサール小規模基金あるいはその他の非基本基金条約の活動に対して任意の拠出金を通じて、追加の資金援助を行ったか。

A - Yes

4.2.2 Additional information (If "Yes" please state the amounts, and for which activities):

追加情報（「はい」の場合、金額を記入すること。）

2010 年にはネパール案件に 34,538 スイスフランを拠出。

Additional information on any other aspects of Strategy 4.2 implementation:

戦略 4.2 実施における他の取組みがあれば追加情報として記載する。

STRATEGY 4.3 Convention bodies' effectiveness. *Ensure that the Conference of the Contracting Parties, Standing Committee, Scientific and Technical Review Panel, and Secretariat are operating at a high level of efficiency and effectiveness to support the implementation of the Convention.*

戦略 4-3 条約の機関の効果。締約国会議、常設委員会、科学技術検討委員会、ならびに条約事務局が、条約履行を支えるために極めて効果的に運営されているようにする。

4.3.1 Has the Contracting Party used its previous Ramsar National Reports in monitoring its implementation of the Convention? {4.7.1} KRA 4.3.ii

締約国は、条約履行状況のモニタリングを行う際に、前回のラムサール国別報告書を利用したか。

□

A - Yes

4.3.1 Additional information (If “Yes”, please indicate how the Reports have been used for monitoring):

追加情報（「はい」あるいは「一部」の場合、報告書をモニタリングにどのように利用したのか記載する。

前回の記載内容との比較検討。

4.3.2 Has the Secretariat been updated on any appointments and changes in Administrative Authority focal points and daily contacts (including CEPA and STRP National Focal Points)? KRA 4.3.i

事務局は担当政府機関窓口と通常担当窓口 (CEPA、STRP国の担当窓口を含む)の任命や移動の更新は行ったか。

A - Yes

4.3.2 Additional information:

追加情報

Additional information on any other aspects of Strategy 4.3 implementation:

戦略 4.3 実施における他の取組みがあれば追加情報として記載する。

STRATEGY 4.4 Working with IOPs and others. Maximize the benefits of working with the Convention's International Organization Partners (IOPs*) and others

戦略 4.4 国際団体パートナー(IOP)等との協働。条約の国際団体パートナー(IOP)等と協働することによる利益を最大にする。

* The IOPs are: BirdLife International, the International Water Management Institute (IWMI), IUCN (International Union for Conservation of Nature), Wetlands International, and WWF International.

* 国際団体パートナーとは：バードライフ・インターナショナル、国際水管理研究所(IWMI) 国際湿地保全連合(WI)、国際自然保護連合 (IUCN)、および世界自然保護基金

4.4.1 Has your country received assistance from one or more of the Convention's IOPs in its implementation of the Convention? {4.9.1} KRA 4.4.iii

条約の実施に際して、国内の一つあるいは複数の条約の国際団体パートナーの支援を受けたか。

A - Yes

4.4.1 Additional information (If “Yes” please provide the name(s) of the IOP(s) and the type of assistance provided):

追加情報（「はい」の場合、国際団体パートナーの名称および援助の種類を明記する。）

WI および BLI による AWC の実施及びその情報提供により、基準 6 の水鳥個体群の個体数 1% および水鳥個体数の変動を確認している・

環境省が 2011 年 10 月に中国で共催予定の AWS に WI-China の支援を受けている。

4.4.2 Has your country provided assistance to one or more of the Convention’s IOPs? {4.9.2} KRA 4.4.iii

貴国は一つ以上の条約の国際団体パートナーに支援を行っているか。

A - Yes

4.4.2 Additional information (If “Yes” please provide the name(s) of the IOP(s) and the type of assistance provided):

追加情報（「はい」の場合、国際団体パートナーの名称および援助の種類を明記する。）

- ・我が国は 1995 年に WI に加入しており、毎年メンバーシップ分担金を支払い、現在政府として最大出資国となっている。
- ・我が国は 1995 年に国家会員として IUCN に加盟しており、毎年会費（membership fee）を拠出していることに加え、政府機関会員として環境省が別途分担金を拠出している。また、東アジア保護地域行動計画の実行を推進するため、当該プロジェクトに対して任意拠出している。

Additional information on any other aspects of Strategy 4.4 implementation:

戦略 4.4 実施における他の取組みがあれば追加情報として記載する。